

幼児の教育 第八十五卷 第五号

五月号 ◎

定価四〇〇円

昭和六十二年四月二十五日 印刷  
昭和六十二年五月一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼  
発行人 本田和子

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番  
りず何故か、また別の道を歩きたくなり  
ます。病氣でしようか。

(晉)

緑が目にしめるようです。五月の風に  
誘われて外に出でくなるもの。生きる物  
すべてが、エネルギーに満ち輝やいて見  
えてきます。

ふといつも通りなれた道ではなく、ち  
ょっと遠まわりをして、今まで通った  
ことのない道を歩きたくなりました。毎  
日生活をし、見馴れた町が、たった一本  
道をずれただけで、全く別の町にいるよ  
うな錯覚におちいり、ちょっとした、ご  
くささやかな冒險気分になってしまいます。  
こんな所にこんなものがあったとか、  
いろいろ発見があるのです。しかし  
これも、絶対に、家にたどり着く自信が  
あるからできることがもしれません。夕  
暮れ時、近道のつもりで選んだ道が、思  
いも寄らぬ方向へと続き、全く見知らぬ  
風景があたりをかこむ時、子供ならずとも  
不安になってきます。

子供の頃、友達と遊んでいて、ちょっ  
と先に帰ろうと、家路を急いだ時、踏み

ど、どんどんわけのわからぬ町にはいつ  
てゆくようで「このまま家に帰れなかつ  
たらどうしよう。」と不安はつのるばかり  
…。半分泣きながら、それでも歩くし  
かないと思い、進んで行きました。家々  
には、あかりがともり、なにやらおいし  
そうな臭いまでして来ます。「おかあさ  
んー」と、小声で何度も呼びながら歩  
きました。

やつと知っている所に出た時の喜び

は、何ともいいがたいものでした。

今でも時々道に迷います。それにもこ  
そまでして来ます。

（晉）

◎本誌御購読についての御注文は発売  
所フレーベル館にお願いいたします

\* 万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。